



# Learning from Action Japan 2019

DECISION-MAKING & ACCOUNTABILITY

**意思決定のプロセス & ことばで説明すること**

Ponytail & Santa Fe,  
Ito-City, Shizuoka  
2019/5/17(Fri)~5/19(Sun)

主催：治療共同体について考える会  
学術協力：IL Nodo Group (Italy)

協賛：京都集団療法研究会  
一般社団法人日本集団精神療法学会  
東京集団精神療法研究所  
南信グループ研究会 など



重篤な心理的問題を抱えるクライアントと仕事をする日本の皆さまへ

アクションから学ぶ体験型ワークショップ

## Learning from Action Japan 2019のご案内

入院や入所などの居住型施設、あるいはデイケアなどの通所型施設で、重篤な心理的問題を抱えるクライアントと仕事をする人にとって、クライアント、スタッフ、そして組織との、意識的かつ無意識的コミュニケーションについて考えることはとても重要です。生活を共にするような治療的コミュニティの中では、複雑な対人的相互作用が生じ、そこには個々のクライアントの治療に役立つ素材が溢れていると言えます。

個人精神療法や集団精神療法などの専門的治療法のみではなく、治療的コミュニティでの様々なアクティビティを通して作られる関係に潜む、無意識的コミュニケーションを扱うことは特に重要です。重篤な心理的問題を抱えるクライアントは、「ことば」よりも「アクション」で多くを表現すると考えられるからです。「アクション」とは、意識的な振る舞いと無意識的で意図していない振る舞いの双方を意味しています。

Learning from Action Working Conference (以下 LfA) は、治療共同体で働くスタッフのトレーニングのために考案された体験型のワークショップです。治療共同体は、日本ではなかなか根付きにくい考え方でありアプローチ法ですが、一定の時間と場所をメンバーとスタッフが共有するというグループ(集団)志向の治療法が、環境や個人にいかにか強い影響力をもたらすかを、わたしたちは再考する必要があるのではないのでしょうか。

日本において、集団精神療法のトレーニングとしての体験グループでメンバーになる機会を持つことができます。しかし、一時的に作られたコミュニティ a Temporary Learning Community、つまり「体験コミュニティ」のメンバーになり、自分自身のアクションを通じた無意識的なコミュニケーションを探索するというトレーニングはこれまでありませんでした。しかし、これこそがわたしたちが治療・援助しようとしている重篤なクライアントのコミュニケーションを理解するためには必要なトレーニングだと考えます。

更に、施設や組織という「集団がもつ力」と「集団が抱える不安」を同時に理解した上で、集団に能動的に関わる能力を身に付けることがわたしたちに求められています。

LfA Japan 2019 の Consultant である古賀と Administrator である川合は、2014 年にイタリアで開かれた LfA に初めて参加し、その重要性や有用さを認識しました。そして、2017 年に岡山において、日本で初めて LfA Japan 2017 を開催しました。そして今、静岡県伊東市において、日本で 2 回目となる LfA Japan 2019 を開催すべく準備を進めています。

今回は、イタリアで長年 LfA の Director を務めてきた Luca Mingarelli、Consultant として関わり続けている精神分析家の Giovanni Foresti、そしてミラノのパーソナリティ障害と依存症者を対象にした治療共同体でセラピストとして勤務する Davide Catullo が来日し、わたしたちと体験を共有し、それを共に探究します。日本人スタッフとしては、LfA Japan 2017 で事務局を担った古賀恵里子が今回は Consultant を、前長野県立こころの医療センター駒ヶ根院長の樋掛忠彦が Associate Consultant を担います。

LfA Japan 2019 に参加することは、皆さんにとって有益な体験となるに違いありません。皆さんの参加をこころよりお待ちしております。

2018 年 10 月吉日

治療共同体について考える会  
世話人 古賀恵里子・川合裕子



※次ページ以降は、IL Nodo Group が作成し、LfA 2018 (イタリア) で使われたパンフレットを日本語に翻訳したものです。

# Learning from Action アクションから学ぶ

これは、一時的なコミュニティでの共同生活を通して、直接的に学ぶ機会を参加者に提供するトレーニングモデルです。

**Learning from action アクションから学ぶ**ことが、このトレーニングの中心に置かれています。ここには、言葉を用いた言語 Language を探究することだけでなく、それ以外の言語を探究することが含まれています。このカンファレンスの焦点は、これらの**異なる言語**を注意深く眺めることによってアクションに意味をもたらすことです。無意識であったり、まだ完全に意識されていなかったりするためにことばでは表現されない個別のコミュニケーションおよびグループのコミュニケーションを伝えようとすることによって、このことが可能となるのです。

このワーキングカンファレンスのアイデアは、**Robert D. Hinshelwood** と **Enrico Pedriali** の協同によって 2000 年初頭に考案されました。現在、このタイプのカンファレンスは、Community of Communities の標準マニュアル (The Standard Quality Manual of Community of Communities) や Mito & Realtà<sup>\*1</sup> によって推進されているプロジェクト 'Visiting' の項目の一つとしてあげられています。

アクションに何らかの意味があると考えることが、必要不可欠なワーキングツールになります。これは、すべての集団に存在するダイナミクスに関してというだけでなく、とりわけ、治療共同体にいるほとんどのメンバーが感情をことばで表現する中で出会う困難を理解し、扱うためのツールです。

実際のところ、LfA は、**入居あるいは入居に準じた施設、より広くは精神保健福祉分野の施設で働くすべての人にとって基盤となる能力を開発すること**を目指しています。このような能力は、教育者、看護師、アシスタント、アドミニストレータ、マネージャー、コンサルタント、公認心理師、臨床心理士、心理療法士、精神科医、神経心理学の専門家、神経科医、ソーシャルワーカー、介護士など、広い範囲の専門家にとって非常に価値があります。しかしながら、すでにこれまでのエディションで成功が体験されているように、営利団体や企業の領域のような、他分野の専門家がこのカンファレンスに参加することも歓迎します。

**「Learning from action アクションから学ぶ」ワーキングカンファレンスは、グループ・リレーションズ・モデル<sup>\*2</sup>に基づき** ([www.ilnodogroup.it](http://www.ilnodogroup.it))、コミュニティスタッフや支援者 (carer) が、コミュニケーションの一形態としての日々のアクティビティの価値を探究し、注意深く検討することができるように援助することを目的としています。

<sup>\*1</sup>1996 年設立、治療共同体の機能に関する研究、研究およびデータ収集、およびその中で働く人々のための専門的な訓練を促進することを目的とした団体 ([www.mitoerealta.org](http://www.mitoerealta.org) (イタリア語) 参照)

<sup>\*2</sup>イギリスのタビストック人間関係研究所のモデル。

## Primary Task 最も重要な課題

このワーキングカンファレンスの最も重要な課題は、一時的に作られた体験コミュニティにおいて、無意識的で非言語的なコミュニケーションと集団力動が、意思決定のプロセスをいかに方向づけるか、そして、それを「ことばで説明すること accountability」、多様な状況で「一緒に作業すること working together」にどのように影響を与えるかを探究する機会を提供することです。

カンファレンスの参加者とスタッフは、一時的な**体験コミュニティ**を共に構成します。

このような特別なトレーニング状況の中でのカンファレンスの主な学習の目的は、組織の、そして施設が持つ影響に加えて、個人レベルと集団レベル双方での意思決定のプロセスに作用する意識的かつ無意識的ダイナミクスについて、参加者の理解を深めることです。

参加者は、非言語的で無意識的なコミュニケーションをリフレクトしながら、全体のシステム（一時的な体験的組織）の中で、そして、そのシステムのために自分自身が果たす役割と自分たちが効果的に働く方法を探究する機会を得ます。コミュニティでの一日の生活や関係に関わる間は、それに貢献するという責任を引き受けるように促されるということです。

このイベントのさらなる学習の目的は、**アクション、考えること、そして学ぶことを多様な次元で探究し、それぞれの間の結びつきを探究すること**です。そうして得られた深い理解は、参加者が働く様々な職場や実践に取り入れられ、応用されることが可能です。

このワーキングカンファレンスは、意思決定の際に作用する種々の要素を直接的に体験するための機会を創り出します。そして、健康的な施設において、民主的な実践と、利用可能な資源を環境として持続的に使用できることとは何であるのかについてリフレクトすることを活性化します。

今年のワーキングカンファレンスで焦点となるテーマは、**意思決定と責任を引き受ける能力**です。

以下の課題をこなすためのグループを形成することによって、コミュニティの生活に基本的に必要なことに対処します。

- 食事の手配
- 共有スペースの清掃、整理整頓
- レジャー活動の計画、実践
- カンファレンスの進行中に合意されたその他の活動の計画、実践

いかなるコミュニティや施設でも、その参加者は共同生活をする、共有することに関わる対人的な力動の出現を目の当たりにするでしょう。それは、責任を引き受けることと任せること、他者と働くこと、意思決定をすること、権威やリーダーシップと関わること、個人と個人そしてグループ内の関係をマネージメントすること、葛藤をマネージメントすること、人材をうまく使う、あるいは無駄にすることなどです。

このような学習目的を達成するために、「**Learning from action アクションから学ぶ**」という方法論を用います。それは、その日毎のイベント、例えば：全体ミーティング（オープニング/クロージング）、アクティビティグループ編成のための全体ミーティング、アクティビティグループ、コミュニティ・ミーティング（モーニング/イブニング）、レビューグループ、アプリケーショングループ、そして必要な時には緊急ミーティングなどで構成されています。

## その他のインフォメーション

- 講義は行われません。
- ワーキングカンファレンスの開催中は、定められた敷地内で過ごしてください。
- ワーキングカンファレンスへの**参加を繰り返すことを、ここからお勧めします**。少なくとも1回以上参加したことがある人は、シニアグループの構成メンバーになります。シニアグループのために組み立てられたプログラムと学習プロセスの中で、いくつかの特有の機会を得ることができます。
- シニアグループプログラムは、2019年5月17日（金）10時30分開始です。
- 体験のプロセスを促進させるために、前もってパンフレットを注意深く、繰り返し読んでみてください。
- このワーキングカンファレンスで提供される宿泊施設は、3人～4人の相部屋です。各自の空間は整理整頓し、共同生活の基本的なニーズに対処できるように心掛けて下さい。
- **強い情緒的あるいは心理的なストレスにさらされた状況の人は、今回のLfAへの参加は控えられた方が良いでしょう。**
- このワーキングカンファレンスでの使用言語は、日本語と英語です。

# プログラム / SCHEDULE

---

## 5月17日 (金)

---

- 11:45-12:30 受付/Welcome and registration (coffee and snack included)
- 12:45-13:45 全体ミーティング (オープニング) /Opening Plenary
- 13:45-14:00 休憩 /Break
- 14:00-15:30 アクティビティグループ編成のための全体ミーティング /Decision-Making Plenary
- 15:30-15:45 休憩 /Break
- 15:45-16:45 各アクティビティグループでのミーティング 1 /Decision-Making Groups 1
- 16:45-18:45 アクティビティ 1 /Activities 1
- 18:45-19:00 休憩 /Break
- 19:00-20:00 イブニング・コミュニティ・ミーティング 1 /Evening Community Meeting 1
- 20:00-20:15 休憩 /Break
- 20:15-21:30 夕食 /Dinner
- 21:35-22:15 コミュニティレジャータイム /Community Leisure Time 1

## 5月18日 (土)

---

- 07:45-08:45 朝食 /Breakfast
- 08:45-09:45 モーニング・コミュニティ・ミーティング 1 /Morning Community Meeting 1
- 09:45-10:00 休憩 /Break
- 10:00-10:30 各アクティビティグループでのミーティング 2 /Decision-Making Groups 2
- 10:30-12:30 アクティビティ 2 /Activities 2
- 12:30-14:00 昼食 /Lunch
- 14:00-14:30 コミュニティレジャータイム 2 /Community Leisure Time 2
- 14:30-14:45 休憩 /Break
- 14:45-15:15 各アクティビティグループでのミーティング 3 /Decision-Making Groups 3
- 15:15-15:30 休憩 /Break
- 15:30-16:45 レビューグループ /Review Groups
- 16:45-17:00 休憩 /Break
- 17:00-18:30 アクティビティ 3 /Activities 3
- 18:30-18:45 休憩 /Break
- 18:45-19:45 イブニング・コミュニティ・ミーティング 2 /Evening Community Meeting 2
- 19:45-20:00 休憩 /Break
- 20:00-21:30 夕食 /Dinner
- 21:35-22:15 コミュニティレジャータイム 3 /Community Leisure Time 3

## 5月19日 (日)

---

- 07:00-08:00 朝食 /Breakfast
- 08:00-09:00 モーニング・コミュニティ・ミーティング 2 /Morning Community Meeting 2
- 09:00-09:10 休憩 /Break
- 09:10-09:40 各アクティビティグループでのミーティング 4 /Decision-Making Groups 4
- 09:45-11:30 アプリケーショングループ /Application Groups
- 11:35-12:30 アクティビティ 4 /Activities 4
- 12:30-13:30 昼食 /Light Lunch
- 13:30-14:00 食器片付け & 共用部分の掃除 /Washing up & communal cleaning
- 14:00-15:00 全体ミーティング (クロージング) /Final Plenary
- 15:00-15:15 お別れの時間 /Leave-taking

必要に応じて、スタッフがプログラムの変更を行う場合があります。変更があった場合は、LfA の開始前、期間中に随時お知らせします。



# スタッフ

---

## Director: **Luca Mingarelli (Italy)**

心理士、社会起業家。青年期のための治療共同体 Rosa dei Venti Foundation 創立者兼ディレクター、IL Nodo Group 代表、Mito & Realtà 理事、OPUS メンバー、International Network of Democratic Therapeutic Communities 理事、イタリアの Group Relations Conference (GRC) である Authority, Leadership and Innovation (ALI) のスタッフ (2006~2017)、LfA のディレクターとコ・ディレクター (2011~)、日本での第1回 LfA の創設と実施、GRC Energy Cocreation and Well-being の創設者兼コ・ディレクター (2010~)  
著書“Difficult Adolescents”, Ed. Ananke. 2009.

## Administrator and Associate Director: **川合裕子 (Japan)**

臨床心理士。京都大学医学部付属病院デイ・ケア診療部

## Consultant: **Davide Catullo (Italy)**

心理士、心理療法士。現在はパーソナリティ障害と依存症の治療共同体 Comunità Alisei – CeAS Onlus で精神療法を担当。子どものための精神療法及び言語聴覚療法の Centro Niguarda (ミラノ) 創立者。IL Nodo Group メンバー、Mito & Realtà メンバー

## Consultant: **古賀恵里子 (Japan)**

臨床心理士。大阪経済大学人間科学部准教授、一般社団法人日本集団精神療法学会理事、グループサイコセラピスト (認定スーパーバイザー)

## Consultant: **樋掛忠彦 (Japan)**

精神科医。長野県立こども病院精神科部長、前長野県立こころの医療センター駒ヶ根院長、一般社団法人日本集団精神療法学会理事、グループサイコセラピスト (認定スーパーバイザー)

## Scientific Supervisor (参加はしません): **Robert Hinshelwood (England)**

精神科医、精神分析家。キャッセル病院のクリニカルディレクター (1993-1997)、Fellow, British Psycho-Analytical Society、Fellow, Royal College of Psychiatrists、エセックス大学精神分析センター (UK) 名誉教授

著書『クライン派用語事典』(誠信書房)『クリニカル・クライン』(誠信書房)

“Thinking about Institutions” (2001) “Countertransference and Alive Moments- Help or Hindrance-” (2016) など多数

## 通訳

---

### 揖斐 衣海 (Japan)

臨床心理士、KIPP 渋谷心理オフィスカウンセラー

### 北原 祐理 (Japan)

東京大学大学院 教育学研究科 臨床心理学コース 博士課程

## 時間の枠組み

---

LfA JAPAN 2019 の開催時間は、**5月17日(金)12:45~5月19日(日)15:15**です。**シニアグループ参加者は5月17日(金)10:30開始**です。参加者は時間を厳守してください。

- 5月17日(金)の受付時間(11:45~12:30)に間に合うようにお越しください。
- 5月16日(木)に前泊することができます(4,300円/泊)。希望される方はお知らせください。
- 部屋の割り振りは、当日の受付時にお伝えします。
- 5月17日(金)の昼食は含まれていません。軽食のみです。

## 参加費

---

- 参加費：**68,000円**(宿泊費、食事費込み)
- シニアグループ参加者(2回目の参加)参加費：**73,000円**(宿泊費、食事費込み)
- 参加申込期限：**2019年4月15日(月)**

## お問合せ・お申込み

---

- **すべてのお問合せ(会場、宿泊施設を含む)は、メールでお願いします。**  
件名に「LfA Japan 2019」とご記入ください。
- **参加のお申込みは、以下の手順でお願いします。**
  1. 治療共同体について考える会のホームページ [www.reflective-tc.jimdo.com](http://www.reflective-tc.jimdo.com) から「参加申込みフォーム」を開いて、必要事項をご記入の上、送信してください。
  2. 受付メールをお送りします。記載されている振込先に、参加費をお振込みください。
  3. 参加者の皆さまには、必要な情報をメールにてお送りします。随時ご確認ください。
- **申込み期限は、2019年4月15日(月)です。**  
先着順で受付をします。定員(22名)になり次第、受付を終了させていただきます。お早めにお申込みください。

連絡先 Email アドレス：[reflective.tc@gmail.com](mailto:reflective.tc@gmail.com)

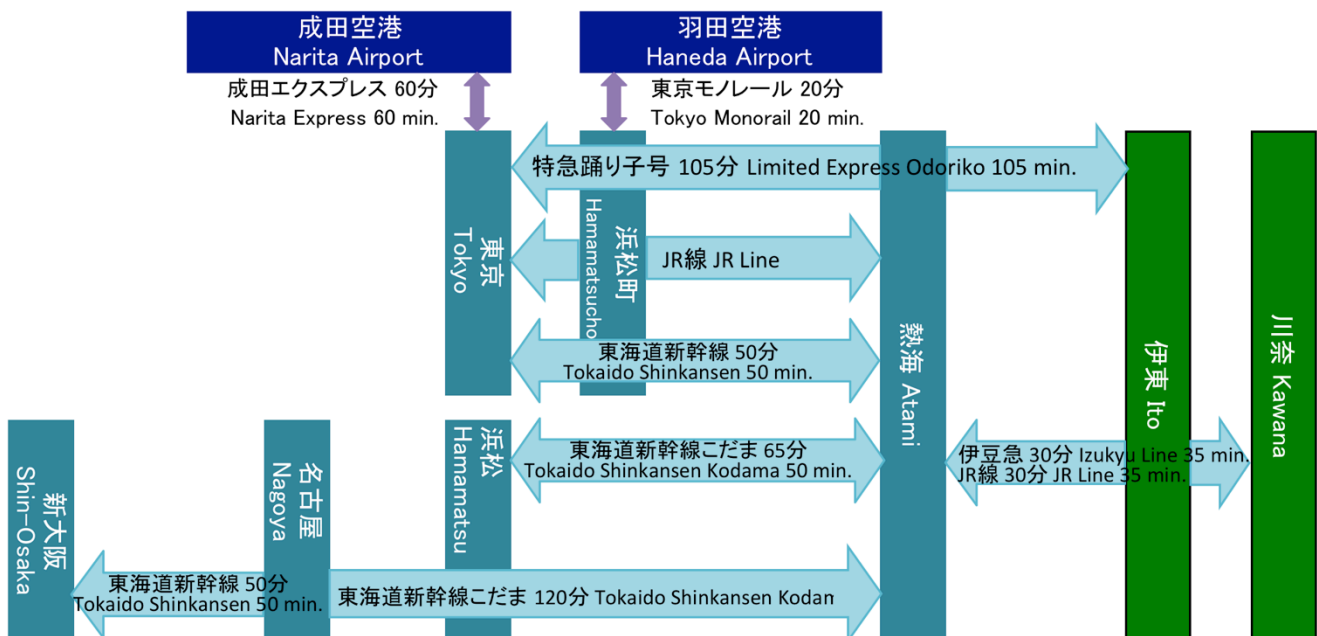
事務局スタッフ：川合裕子

## 開催地：静岡県伊東市

静岡県伊東市は、温泉、日本茶、わさびなどで有名な伊豆半島の東部に位置します。伊豆は気候も温暖なため、昔から多くの文人や芸術家から愛されてきました。晴れた日には、いくつかのスポットから富士山を遠くに望むことができます。東伊豆の台地は小さな火山群から流れ出した溶岩が生み出したもので、海岸線では約 4000 年前の噴火の際にできた柱状の岩「柱状節理」を観察することができます。全国有数の湯量を誇る伊東温泉の開湯は、平安時代とも言われています。



(<http://www.jreast.co.jp/e/destinations/izu.html> より引用)

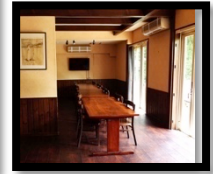
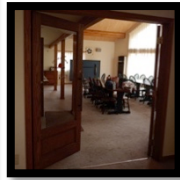


- 伊東市役所観光行政情報ホームページ [city.ito.shizuoka.jp](http://city.ito.shizuoka.jp)
- 伊東観光協会オフィシャルサイト [itospa.com](http://itospa.com) (伊東までのアクセス [itospa.com/access](http://itospa.com/access))



## 会場：ポニーテール&サンタフェ

ポニーテールとサンタフェは隣同士の貸別荘です（徒歩 1 分）。  
宇根展望台まで 2 km、城ヶ崎海岸や大室山まで 4 km 程度の場所にあります。  
徒歩圏内にコンビニエンスストア、飲食店はありません。  
建物の前に駐車場があります。お車でお越しの方は、予めお知らせください。



ポニーテール：[aco.co.jp/ponytail](http://aco.co.jp/ponytail)  
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1273-95

サンタフェ：[aco.co.jp/groupsantafe](http://aco.co.jp/groupsantafe)  
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1273-4



会場までの行き方

- ・伊東駅から：東海バスに乗車（約 30 分）、最寄りバス停「三の原」下車 徒歩 5 分
- ・川奈駅から：タクシーで 10～15 分程度（約 2,500 円）

## 主催団体

治療共同体について考える会 [www.reflective-tc.jimdo.com](http://www.reflective-tc.jimdo.com)

この会は、2016 年 1 月に大阪で、川合裕子と古賀恵里子が始めました。20 名を越すメンバーで構成され、その職種は臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士、看護師、精神科医、大学院生と多様です。大阪経済大学で定期的（年 8 回程度）に集まりを持ち、精神科病棟、デイケア、その他の施設が、より精神療法的になるための環境について考えを巡らせています。これまで、治療共同体の Core Values、「治療共同体を超えて」（マックスウェル・ジョーンズ著、鈴木純一訳）、キャッセル病院の入院案内などの文献を読み、話し合いながら、自分自身の臨床実践、患者との関係、スタッフと患者との関係などをリフレクトしました。

## 学術協力

---

### IL Nodo Group (Italy) [www.ilnodogroup.it](http://www.ilnodogroup.it)

IL Nodo Group は、多様な領域のコンサルタントによって構成された団体であり、グループや組織のダイナミックスを用いて研究する倫理的で民主的なアプローチへの熱意を共有しています。その中心的な使命は、横断的な学問の能力と技術を育むために、保健福祉、企業、教育、慈善事業、公共管理部門の様々な専門家間の学術的な協力を推進することです。

ILNodo Group は、Tavistock institute of Human Relations と協力し、1998 年以来毎年、宿泊型の Group Relations Conference “Authority, leadership and innovation” (ALI) のスポンサーおよび主催をしています。また、グループ・リレーション・イベントとしての LfA と The international GRC ECW (Energy, creative collaboration and well-being in organisations) も主催しています。

更に、変化の手段として、かつ成長しより良く生きるためのサポートとして、個人、グループ、施設、社会における意識的そして無意識的関係についての探索と理解を推進することを主要な課題としています。

## 協賛団体 (アルファベット順)

---

Fondazione Rosa dei Venti Onlus [www.rosadeiventi.org](http://www.rosadeiventi.org)

International Network of Democratic Therapeutic Communities [www.indtc.org.uk](http://www.indtc.org.uk)

Itgip 東京集団精神療法研究所 [www.muse.dti.ne.jp/~itgip/](http://www.muse.dti.ne.jp/~itgip/)

一般社団法人 日本集団精神療法学会 [www.jagp1983.com](http://www.jagp1983.com)

京都集団療法研究会

Mito & Realtà [www.mitoerealta.org](http://www.mitoerealta.org)

Mulberry Bush Organization [www.mulberrybush.org.uk](http://www.mulberrybush.org.uk)

南信グループ研究会

Thalassa HÁZ-Budapest [www.thalassahaz.hu](http://www.thalassahaz.hu)

## 追記

---

- ◇ LfA についての研究を深めるために、将来、この取り組みについて論文等で発表する可能性があることをご了解下さい。尚、その際には参加者個人が特定されないことがないように留意することをお約束します。

ILNODO  
GROUP



Fondazione  
Rosa dei Venti Onlus

